

所 属 鳥取県漁業協同組合（境港支所）

氏 名 ささき ただし  
佐々木 正（51歳）

船 名 ゆうせいまる  
勇正丸 4.9トン

漁業種類 小型底びき網



### ～漁業との運命の出会い！～

漁業者の中には、漁業に憧れて転職した方がいる。境港市で小型底曳網漁を営む佐々木正さんもその一人。佐々木さんは生まれも育ちも境港という生粋の浜っ子。身近な海を遊び場に育ち、大人になってからは漁船のエンジン修理を仕事にした。

そんな佐々木さんの転機は突然訪れた。得意先の漁業者から、船を譲りたいと持ちかけられたのだ。佐々木さんはすぐに会社を辞め、漁師としての人生をスタートさせた。

だが、現実には甘くはなかった。網は漁師仲間がみんなで作ってくれたものの、漁業の技術は「出漁前日にベテラン漁師の操業を1回見せてもらっただけ」という体当たりの船出。当然まともな漁にはならなかった。それでも続けてこられたのは「家族や仲間の支えがあったから」と言う。大漁や失敗を繰り返しながら、今ではすっかりベテラン漁師になり、若い漁師からも慕われている。

### ～軽トラックの恩返し！？～

3年前の操業中に、網に軽トラックの残骸を引っかけてしまった。なんとか軽トラックを外した佐々木さんは心に引っかかるものを感じ、その場所を記録しておいた。後日その近辺で操業したところ、高級魚ばかりが獲れ、一晩で数十万円もの水揚げがあったという。鶴ならぬ軽トラックの恩返しではないだろうか。

（文責：田中 靖）